

産業建設常任委員会

10月26日・27日

神奈川県小田原市において、合同会社かなごてファームの「ソーラーシェアリング事業」の取り組みについて、行政視察調査を行いました。

耕作放棄地を活用して電気エネルギーと農業を同時に行う営農型太陽光発電に取り組み、ソーラーパネルで発電している遊休農地の下で「みかん」や「米」を生産されるという、ソーラーシェアリング事業を展開されて、生産された「みかん」をふるさと納税の返礼品にされたり、「米」を地域の酒造会社で加工されるなど、農業振興と地域の活性化に結び付けられておられました。

本市においても、地域の資源である再生可能エネルギーを活かし農業振興に繋げていく取り組みを市民とともに広げること、遊休農地の有効活用に加え、脱炭素社会にも貢献できるものと考えられます。



その他の視察先

○神奈川県中井町「オンデマンドバス事業の取り組みについて」

管内調査（12月15日）

国道161号の整備状況について滋賀国道事務所から、小松拡幅13工区のルート計画の説明を受け、その後、安曇川地区立体化事業および小松拡幅14工区へ現場視察を行いました。

小松拡幅14工区については、令和7年度を目途に完成予定とのことでしたが、13工区については、その後、測量などの時間を要し、全線開通までは、時間がかかるとのことであり、白鬚神社付近の往来に伴う事故対策や渋滞緩和、緊急輸送路の確保の観点からも、早期実現に向けて積極的な働きかけが必要であると改めて認識しました。



おられるという内容でした。

認知症の人を支援する、サポートするという、別の存在であると区別しがちですが、そうではなく、ともに歩む、ともに生きていくという視点を持つていくことは、当市においても、認知症対策を考える上で、1つレベルアップした段階に進めていける大変参考になる取り組みであると感じました。



その他の視察先

○奈良市社会福祉協議会「他機関・他分野との協働による場づくりについて」